

## I 教育課程に関するアンケート結果(研究局)

### 1 はじめに

このアンケートは、全国高等学校農場協会の会員名簿から47都道府県理事を通じて375校に依頼し、各校の学科・総合学科を仰いだ。結果、全ての都道府県369校98(%)、学科・系列から回答を得た。結果は以下のとおりである。

#### (1) 基本学校数

表1 農場協会会員校

単独校	併置校	総合制校	総合学科校	総合選択制校	総合制専門校	総合産業校	総合技術校	合計
122	156	22	66	1	4	1	3	375

※農場協会の名簿より(数字は学校数)

農業単独校：農業関係学科だけを置く学校

併置校：農業関係学科の他に普通・家庭・商業・工業・その他の学科を置く学校

総合制校：普通科と専門学科の両方を置く学校

総合学科：普通教育と専門教育を総合的に施す学科を置く学校

総合制専門校：さまざまな専門の学科を置く学校

総合選択制校：複数の学科の枠を超えて授業選択できるようにした学校または学科の枠内で従来の高校と比較して多様な選択科目を設置した学校

総合産業校：栃木県(1校/小山北桜高校)

総合技術校：長野県(3校/須坂創成高校、佐久平総合技術高校(浅間キャンパス、臼田キャンパス))

#### (2) アンケート回答状況

※分校を2校分でカウント

表2 アンケート回答数

	学校数	回答校数	農業関連	総合学科	その他	学科・系列	農業関連校 学科数	総合学科校 系列数
北海道	30	27	23	4	0	49	43	6
東北	52	51	34	15	2	115	99	16
関東	74	74	45	18	11	190	153	37
北信越	35	35	20	13	2	70	57	13
近東	63	61	51	10	0	142	129	13
中国	29	29	20	7	2	69	57	12
四国	29	29	20	6	3	59	48	11
九州	63	63	54	6	3	160	150	10
合計	375	369	267	79	23	854	736	118

※1：農業関連は、回答を得た(総合学科以外)の学校・学科

※2：その他は、普通科内でのコース等

※3：校内で学科と総合学科の系列が合わさっているところは併置校扱いで農業関連とした。

## 2 アンケートの集計結果

### (1) 学科・系統の分類について

学科・系統の分類についてのアンケートで、(ア)～(サ)以外に(ア・イ)のように複合した選択肢を多くし回答は複数可としたが、(ア)、(イ)と(ア・イ)の両方を回答するなど重複が多かった。また、アンケートの選択肢のあてはまらない複数の回答は、すべて「その他」とし、集計した。その結果以下である(表3)。

表3 学科・系統の分類について

大 学 科	農業学科 (736学科)	総合系列系 (118系列)	平均
選 択 肢	%	%	%
ア 栽培(農業・園芸)	17.4	17.8	17.6
イ 飼育(畜産・動物)	4.1	0.0	2.0
ウ 食品	11.3	11.0	11.1
エ 流通・経営	1.2	1.7	1.5
オ 林業	3.5	1.7	2.6
カ 農業土木	3.4	0.8	2.1
キ 造園	1.6	0.8	1.2
ク 農業機械	1.1	0.0	0.5
ケ ヒューマンサービス(福祉・生活)	5.0	1.7	3.4
コ バイオテクノロジー	1.0	0.0	0.5
ア・イ 栽培・飼育	9.0	6.8	7.9
ア・ウ 栽培・食品	5.6	20.3	13.0
ア・エ 栽培・流通・経営	1.5	0.0	0.7
ア・オ 栽培・林業	1.0	2.5	1.7
ア・カ 栽培・土木	0.5	0.0	0.3
ア・キ 栽培・造園	1.9	3.4	2.6
ア・ケ 栽培・ヒューマンサービス	3.3	0.8	2.1
ア・コ 栽培・バイオテクノロジー	2.3	2.5	2.4
ア・イ・ウ 栽培・飼育・食品	3.0	3.4	3.2
ウ・エ 食品・流通・経営	2.2	3.4	2.8
カ・キ 農業土木・造園	3.3	3.4	3.3
その他	17.0	17.8	17.4

(2) 農業科目の履修状況

平成30年次期学習指導要領が告示されたが、現在のものは平成25年4月1日の入学生から年次進行により段階的に適用されてきた。農業の専門科目として30科目ありその履修状況を調査した。その結果が以下である。(表4)

表4 農業科目の履修状況について

学科系列コース数	農業学科 (736学科)	総合系列系 (118系列)	平均
選 択 肢	%	%	%
農業と環境	98.6	83.1	90.8
課題研究	98.5	52.5	75.5
総合実習	97.0	70.3	83.7
農業情報処理	94.0	44.9	69.5
作物	25.7	31.4	28.5
野菜	45.1	59.3	52.2
果樹	28.5	33.1	30.8
草花	43.8	59.3	51.5
畜産	22.0	8.5	15.2
農業経営	38.7	12.7	25.7
農業機械	34.9	33.9	34.4
農業経済	9.6	3.4	6.5
食品製造	46.5	61.9	54.2
食品化学	23.0	25.4	24.2
微生物利用	24.0	24.6	24.3
食品流通	31.5	28.0	29.7
植物バイオテクノロジー	33.4	38.1	35.8
動物バイオテクノロジー	7.9	0.8	4.4
森林科学	8.7	11.0	9.9
森林経営	5.7	0.8	3.3
林産物利用	8.6	10.2	9.4
農業土木設計	9.6	7.6	8.6
農業土木施工	10.7	5.9	8.3
水循環	12.6	9.3	11.0
造園計画	13.7	16.9	15.3
造園技術	16.6	16.1	16.3
環境緑化材料	11.7	14.4	13.0
測量	20.0	13.6	16.8
生物活用	43.2	54.2	48.7
グリーンライフ	29.3	31.4	30.4

「農業科目の履修状況」については、農業の基本である「栽培系」が62%と半数以上を占めるが、一方で「飼育」が20%と少なく、食品の割合が32%と2番目に多い結果となっている。

(2) i 「GAP」に関する内容について

本年度は科目別のGAPの取組みについて集計した。(表5)

表5 科目別GAPの取組み状況について【( )は回答学科・系列数】

科目別GAPの取組み状況	農業学科 (736学科)	総合系列系 (118系列)	平均
回答数854学科	%	%	%
農業と環境	47.3	33.9	45.4
課題研究	19.3	5.9	17.4
総合実習	30.0	29.7	30.0
農業情報処理	2.0	5.1	2.5
作物	10.7	8.5	10.4
野菜	21.7	18.6	21.3
果樹	12.1	7.6	11.5
草花	5.8	5.1	5.7
畜産	5.8	0.0	5.0
農業経営	10.1	1.7	8.9
農業機械	1.1	0.0	0.9
農業経済	1.2	0.0	1.1
食品製造	2.9	6.8	3.4
食品化学	0.3	0.0	0.2
微生物利用	0.1	0.0	0.1
食品流通	3.5	1.7	3.3
植物バイオテクノロジー	0.4	0.0	0.4
動物バイオテクノロジー	0.1	0.0	0.1
森林科学	0.3	0.0	0.2
森林経営	0.4	0.0	0.4
林産物利用	0.4	0.0	0.4
農業土木設計	0.0	0.0	0.0
農業土木施工	0.0	0.0	0.0
水循環	0.0	0.0	0.0
造園計画	0.0	0.0	0.0
造園技術	0.0	0.0	0.0
環境緑化材料	0.0	0.0	0.0
測量	0.0	0.0	0.0
生物活用	1.4	1.7	1.4
グリーンライフ	1.1	2.5	1.3

科目別でのGAPの取組み状況は農業学科・総合系列系ともに農業の基本となる「農業と環境」「総合実習」の授業内での取組みが多い。しかし栽培系の科目の中心である「野菜」や「果樹」等での学習は16%と低い。これは、各部門別でのGAP認証への取り組みよりも「GAPとは」といった概要を指導内容とする傾向が高いためであると思われる。また、食品系のGAPへの取り組み割合が低いのは、よりHACCPについての学習が重要だとされているためと考えられる。

ii 学科別GAPの実施状況

表6 各ブロックの学科・系列別におけるGAPの取組み状況について

各ブロックにおける学科別の GAPの取組み状況	農業学科(%)								
	北海道	東北	関東	北信越	近東	中国	四国	九州	平均
回答数(540)									
既に、認証されている。	30.2	21.2	28.1	7.0	15.5	12.3	29.2	12.7	19.5
まだ、認証されていないが、 実施に向け準備をしている。	4.7	6.1	1.3	1.8	15.5	8.8	2.1	6.0	5.8
認証を受けるか、受けないか 検討中である。	9.3	10.1	5.9	7.0	5.4	15.8	4.2	10.0	8.5
認証を受けたいと思うが、 検討すら行っていない。	0.0	5.1	1.3	0.0	5.4	1.8	2.1	7.3	2.9
GAPの認証は考えていない。	18.6	16.2	14.4	52.6	27.1	21.1	14.6	23.3	23.5
学科・コース・系列の 特性上無理である。	2.3	7.1	16.3	8.8	12.4	17.5	10.4	8.0	10.4
その他	0.0	3.0	1.3	0.0	4.7	0.0	0.0	6.0	1.9
各ブロックにおける系列別の GAPの取組み状況	総合系系列系(%)								
	北海道	東北	関東	北信越	近東	中国	四国	九州	平均
回答数(89)									
既に、認証されている。	0.0	12.5	10.8	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	5.2
まだ、認証されていないが、 実施に向け準備をしている。	16.7	12.5	2.7	7.7	0.0	0.0	0.0	10.0	6.2
認証を受けるか、受けないか 検討中である。	0.0	6.3	2.7	15.4	7.7	0.0	0.0	10.0	5.3
認証を受けたいと思うが、 検討すら行っていない。	16.7	18.8	8.1	7.7	7.7	8.3	0.0	0.0	8.4
GAPの認証は考えていない。	16.7	37.5	29.7	38.5	61.5	50.0	18.2	50.0	37.8
学科・コース・系列の 特性上無理である。	33.3	6.3	8.1	23.1	15.4	0.0	36.4	0.0	15.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※【GAPの種類としては、GGAP、JGAP、ASIAGAP、各県独自のGAPを取得している。】

「GAP認証を受けている」「認証に向けて準備中」とGAP認証に関して前向きな回答した学科・総合系系列合わせて36%に対して、「GAP認証は考えていない」「学科の特性上無理である」といったGAP認証に対してネガティブな回答の割合が約70%と高い。表5において、「農業と環境」や「総合実習」のように農業の概論を指導する科目において、「GAP」についての指導されていることがわかった。表5、表6の結果から、GAPに関する教育は何らかの科目で行われているが、GAP認証への取組みまでは至っていないということが言える。

### 3 おわりに

平成30年3月に高等学校学習指導要領が告示され、令和4年(2022)年4月1日以降に高等学校の第1学年に入学した生徒から年次進行により段階的に適用することになる。現在グランドデザインを作成し、新しい科目の内容をどのように導入していくのか、またその流れの中でどのように学校設定科目を位置づけていくのか各校において検討がされていると思われることと、アンケート結果を参考に新学習指導要領に則した教育課程の編成、学習指導の内容や方法について、今後各校でさらに検討を重ねて欲しいと願っている。

アンケートご協力いただきまして心より感謝申し上げます。